

令和5年度松戸市献血推進協議会委嘱状交付式及び協議会 議事録

1 日 時 令和5年8月3日(木) 10時00分～11時20分

2 場 所 松戸市中央保健福祉センター 2階集団指導室

3 出席者

【委員】

会 長	市場 卓	松戸市医師会
副会長	大谷 茂範	松戸ユーカリライオンズクラブ
委 員	武藤 金太郎	松飛台工業会
委 員	古閑 比斗志	千葉県松戸健康福祉センター
委 員	花輪 茂道	松戸訪問看護の会
委 員	岩橋 成明	松戸中央ライオンズクラブ
委 員	水野 武明	松戸東ライオンズクラブ
委 員	森正 浩造	松戸ロータリークラブ
委 員	神谷 繁樹	松戸西ロータリークラブ
委 員	齋藤 隼	松戸青年会議所(代理 川上様)
委 員	大野 福美	松戸市赤十字奉仕団
委 員	江口 笑美子	北松戸工業会
委 員	川井 光弘	松戸全市工業会
委 員	高橋 佳孝	松戸商工会議所

【委員欠席者】

委 員	鈴木 大介	松戸グリーンライオンズクラブ
委 員	木下 康誠	松戸東ロータリークラブ
委 員	秋山 由美子	松戸中央ロータリークラブ
委 員	伊東 好雄	稔台工業会
委 員	中川 智博	陸上自衛隊需品学校
委 員	齋藤 則夫	松戸市立松戸高等学校
委 員	尾形 章	松戸市立総合医療センター

【事務局】

健康医療部 部長 大淵俊介
予防衛生課 課長補佐 嶋原 千鶴、主査 井上 雅晴、
主任主事 増田 雄大、主任主事 吉田 陽子

【オブザーバー】

千葉県赤十字血液センター
事業推進一副部長(兼)献血推進課長(兼)千葉出張所長 大橋 恵次
松戸出張所長 永井孝典、献血推進一部 献血推進課 主事 腰川 陽佑

4 議 事

(司会)

定刻となりましたので、ただいまより令和 5 年度松戸市献血推進協議会委嘱状交付式及び協議会を開催いたします。

本日は、お忙しいところ、ご出席いただきありがとうございます。
進行役を務めさせていただきます、予防衛生課 吉田と申します。よろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症の位置づけが 5 類感染症となりました為、本会場でのマスクの着用は個人の判断とさせていただきます。尚、横側の窓は常時換気をさせていた
いております。進行については着座にて失礼いたします。それでは、初めに本日の配布
資料の確認をさせていただきます。

まず、本日の次第、席次表、続いて資料 1 松戸市献血推進協議会委員名簿、資料 2 松
戸市献血推進協議会会則、令和 5 年度松戸市献血推進協議会議案書、封筒に入っており
ます千葉県赤十字血液センターからの資料、最後に、献血協力者への記念品でございま
す。

以上となりますが、資料の不足はございませんでしょうか。

続きまして、次第 2、委嘱状の交付を行います。

今年度は当協議会委員の任期期間中ではありますが、一部の団体より委員の欠員となる
旨の報告がありました。本日はその後任として団体から推薦のありました方々にご出席
されておりますので、当協議会委員として委嘱状をこれよりお渡しいたします。委員に
おかれましては、そのまま自席にてお待ちくださいますようお願い申し上げます。また、
失礼ながら事務局より、新任委員の方のお名前をお呼びいたしますので、自席にてご起
立くださいますよう、重ねてお願い申し上げます。なお、委嘱状交付は名簿登載順とな
ります。

それでは、健康医療部長 大淵より委嘱状の交付をさせていただきます。
大淵部長よろしくお願いいたします。

森正 浩造委員、神谷 繁樹委員、齋藤 隼委員、江口 笑美子委員、
川井 光弘委員、高橋 佳孝委員

本来なら、お一人お一人に委嘱状を交付すべきところですが、本日は代表者
の方お一人に交付するということをご了承賜りたいと存じます。

それでは、委員の皆様を代表といたしまして、森正浩造様に委嘱状を交付いたします。
森正様、恐れ入りますが前にお越しく下さい。

—委嘱状 交付—

(司会)

ありがとうございました。

ほかの委員の皆様につきましては、委嘱状をお手元にお配りしましたのでご確認のう
えお納めください。また、本日ご欠席の委員の皆様には、後日郵送させていただきます。

続きまして、次第 3 健康医療部長大淵より、ご挨拶申し上げます。

(健康医療部長大淵)

改めまして皆様、こんにちは。松戸市健康医療部長の大淵でございます。

本日は、お忙しい中、松戸市献血推進協議会にご出席賜り誠に有難うございます。また日頃より、本市の健康医療事業に対しまして、ご指導、ご協力を受け賜り、厚くお礼申し上げます。

先月でございますが、7月 26 日に献血運動の一層の推進を図る献血運動推進全国大会が千葉県千葉市におきまして開催されたところでございます。この大会につきましては毎年、都道府県の持ち回りで開催されておりまして、千葉県での開催は 48 年ぶりで行われました。熊谷知事からのご挨拶の中で、この大会を機に若い方世代の献血への意識が高まることを大いに期待しているという言葉がございました。これを受けまして、県内での昨年度の献血をされた方々は約 23 万人ということが言われているところでございます。昨年度の松戸市内の献血車による献血状況でございますが、新型コロナウイルスの感染拡大によりまして国及び千葉県より定められております目標値に達することが難しい状況でございます。年代別献血状況を見ますと、献血者数の約 60%は 50 歳未満の方々に支えられています。また、輸血用血液製剤を使用される方々の約 85%は 50 歳以上の方々でございますことから若い方々が継続的に献血を行っていただけることが今後の献血事業の鍵になると考えております。松戸市では目標達成に向けまして、広報や若い方に馴染みのあるツイッターなどを活用しまして、継続的に周知・啓発に取り組んでおります。昨年度は若い方への啓発活動の一環と致しまして、成人式での啓発スライドの投影や市内大学でのポスター掲示を行いました。今後も様々な場面で献血の周知啓発に一層力を入れて参りたい所存でございます。

委員の皆様におかれましても、当市における献血推進事業に引き続きご協力いただきますようお願い申し上げます。

最後になりますが、本日は、関係団体等それぞれの立場からご意見をいただき、活発な議論が行われることを期待致しまして簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

(司会)

ありがとうございました。

以上をもちまして、令和 5 年度松戸市献血推進協議会委嘱状交付式を終了いたします。引き続き、協議会を開催いたしますが、大淵部長は、公務の都合により、ここで退席させていただきます。

これより、令和 5 年度松戸市献血推進協議会を開催いたします。次第 4 事務局長挨拶及び職員紹介を予定しておりましたが、事務局長である予防衛生課長 清水は体調不良の為、本日欠席させていただいております。皆様が一堂に会しておりますので、代理で事務局職員の紹介を行わせていただきたいと思います。まず、課長補佐の鳴原でございます。次に班長の井上でございます。そして担当の増田でございます。同じく担当の私吉

田でございます。このメンバーで協議会の事務を担ってまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。

また、本日はオブザーバーといたしまして、千葉県赤十字血液センター様にお越しいただいております。事業推進一副部長 兼 献血推進課長 兼 千葉出張所長の大橋 恵次様、松戸出張所長の永井 孝典様、献血推進一部 献血推進課の腰川 陽佑様でございます。千葉県赤十字血液センター様にはこのあと議題終了後にご講演をお願いしています。

続きまして、次第 5 委員の皆様より一言ずつ自己紹介をお願いいたします。恐れ入りますが、武藤委員より、反時計回りに一言ずつお願いいたします。

(武藤委員)

拝任いたしました松飛台工業会 株式会社広正社の武藤でございます。先ほど、会長とお話致しまして、松飛台工業会が以前松戸市内で開催していた場所が使用できない状況でございまして、現在も候補地を検討中という状況でございます。今後、何らかの決定があるかとは思いますが、よろしくお願いいたします。

(古閑委員)

千葉県松戸健康福祉センターの古閑でございます。よろしくお願いいたします。

(花輪委員)

花輪でございます。よろしくお願いいたします。

(岩橋委員)

松戸中央ライオンズクラブの岩橋と申します。私たちのクラブでは毎月第三日曜日に松戸のキャラクターである松戸さんを迎えまして献血呼びかけのお手伝いしております。引き続きよろしくお願い致します。

(水野委員)

松戸東ライオンズクラブの水野です。うちのクラブでは 42 年前から新松戸で献血を行っております。同じ新松戸の方もいらっしゃいますので今後も連携を強めていきたいと思っております。

(森正委員)

松戸ロータリークラブの森正と申します。よろしくお願いいたします。当クラブでは例年、社会奉仕事業の一環として献血推進協議会にご協力させていただいております。委員は毎年変わりますが、引き続き今後ともよろしくお願いいたします。記念品の提供も引き続きご協力させていただきますのでよろしくお願いいたします。

(神谷委員)

松戸西ロータリークラブの神谷繁樹です。よろしくお願いいたします。当クラブでは 70 歳以上の方が増えております。献血は 70 歳までということですので少し残念に思っております。よろしくお願いいたします。

(齋藤委員 (川上様代理))

公益社団法人 松戸青年会議所 齋藤 隼の代理の川上でございます。本日は代理ということで、見聞きしたことをしっかりと齋藤の方にお伝えしますので、よろしくお願いいたします。

(大野委員)

松戸市日赤奉仕団の大野と申します。日赤では毎年「なごみ」という新聞を出しております。その中になごみの場所を地図で示しましてそれを皆様に配っております。また、週に 2 日 2 人態勢で献血の呼びかけを行っております。私を含めて、皆様年齢が高くなって参りましたので若い方に中心になっていただいて、注射が怖いということはありませんが、ちょっとしたきっかけがあればやらなければと思ってもらえると思います。

また、私も 26 日に千葉県大会に行参りました。若い方がとっても多く、協力してくださっているということを目の当たりにしまして、これは希望があるなと思しました。これからは学校にも伺ったらいいなと思っております。よろしくお願いいたします。

(江口委員)

北松戸工業会の江口と申します。新任ではございますが、前任者から引き継いだ広報活動に努めて参りたいと思します。よろしくお願いいたします。

(川井委員)

松戸全市工業会から参りました川井と申します。新任としてどうぞよろしくお願いいたします。

(高橋委員)

松戸商工会議所 青年部の高橋と申します。新任として伺いました。今日はよろしくお願いいたします。

(司会)

皆様ありがとうございました。

なお、本日、鈴木 大介 委員、木下 康誠 委員、伊東 好雄 委員、中川 智博 委員、齋藤 則夫 委員、尾形 章 委員、秋山 由美子委員は、都合により欠席されるとのご連絡をいただいております。続きまして、次第 6 会長・副会長挨拶に移ります。

市場会長、よろしくお願いいたします。

(市場会長)

皆様おはようございます。松戸市医師会で会長をやっております市場と申します。コ

ロナが流行し始めて約 3 年半となります。この間、献血にも非常に大きなダメージというか影響を受けたと伺っております。それでも赤十字の方々の努力、そして関係者の方々の努力によって何とか献血事業が継続されてきているのだと思います。今日の会議では昨年度委員の皆様から出た質問やご意見に対する報告も事務局よりあるそうですし、その他にも活発にご議論いただければと思います。それから、赤十字の方からコロナの状況で苦しかったこととか、これからどのように活性化していくかというヒントになるお話が伺えたらと楽しみにしております。では、簡単ながら本日はよろしくお願い致します。

(司会)

ありがとうございました。続きまして大谷副会長、よろしくお願ひいたします、

(大谷副会長)

おはようございます。松戸ユウカリライオンズクラブから参加しております大谷と申します。松戸ユウカリライオンズクラブの方でも委員の間情報を共有して活動を行っていきたくと思います。松戸市でコロナの感染が増えてきているという話がありますけれどもいろんなイベントが増えていまして、これから皆様にもご協力いただきたいと思いますので、是非よろしくお願ひ致します。

ありがとうございました。

(司会)

それでは、次第 7 議題を進めるにあたり、はじめに、松戸市献血推進協議会についてご説明させていただきます。

資料 1 の「松戸市献血推進協議会委員名簿」をご覧ください。

本日、委嘱状を交付させていただきましたが、今年度は 21 名の委員の皆様協議会を構成いただいております。昨年度から引き続き、委員をお引き受けくださいました方が 14 名、新たに委員をお引き受けくださいました方が 7 名となっております。

皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、会則第 7 条の規定により、会長が議長となることとなっておりますので、これからの議事につきましては、会長に議長をお願いしたいと存じます。

市場会長、よろしくお願ひいたします。

(市場会長)

議題に入る前にお知らせいたします。この協議会は、松戸市情報公開条例第 32 条により、公開といたしまして、傍聴も可能であることをお知らせいたします。本日の傍聴に関して、事務局より報告願ひします。

(事務局)

本日の傍聴の希望者は 1 名で、入室の許可をお願いいたします。

(市場会長)

では傍聴者の入室をお願いします。それでは、議事に入りたいと思いますが、事務局から補足事項はありますか。

(事務局)

議案第 1 号から第 4 号に関する質問等への補助説明について、千葉県赤十字血液センター職員が発言することに関し、許可を頂きたいと思えます。

(市場会長)

事務局より申し出がありました、許可してよろしいでしょうか。

—異議なし—

(市場会長)

異議がないので許可します。これより議題に入ります。議案第 1 号令和 4 年度事業報告、議案第 2 号令和 4 年度事業決算報告についての審議・承認を行い、その後、議案第 3 号令和 5 年度事業計画（案）、議案第 4 号令和 5 年度事業予算（案）についての審議・承認を行います。なお、承認については拍手をもって行いますのでよろしくお願ひします。まず、議案第 1 号、令和 4 年度事業報告について事務局より、説明をお願いします。

(事務局)

それでは、「令和 5 年度松戸市献血推進協議会議案書」1 ページをご覧ください。令和 4 年度松戸市移動献血実績についてご報告いたします。ご覧いただいております表 1 から表 4 につきましては、松戸市献血推進協議会による献血も含めました松戸市内全体の移動献血車による実績となっております。

表 1 にありますように、令和 4 年度は市内 57 会場で移動献血を実施いたしました。実施者数は平成 23 年度をピークに減少傾向となっており、令和 4 年度は 1,719 人の方にご協力いただいたという結果でございます。献血量の目標に対する達成率は、32.6% となっております。

表 2 につきましては、男女年齢別の献血実施人数及び献血量となります。男女ともに 40 代の方の実施者数が多く、続いて 50 代、30 代と続いております。また 10 代、20 代の多くの若い年代の方にも協力いただきました。

2 ページの表 3 にありますように、男女合わせて 1,719 人の方が献血を実施し 200ml 換算で 3,385 人分の血液を確保することができました。

次に、表 4 の団体別内訳では、事業所での実施回数が多く、実施者数については 770 人と全体の約 4 割を占めております。

表 5 につきましては、市内の病院の血液の利用状況を示したものとなります。松戸市立総合医療センターと市内の他病院を合わせ、200ml 換算で 122,862 単位の血液を利

用いたしました。

続きまして、3 ページの表 6 が松戸市献血推進協議会所属の実施結果となっております。下段にありますように、合計延べ 25 回、実施者は男性 639 人、女性 206 人、合計 845 人という結果でございました。松戸市内の全ての移動献血実績のうち、松戸市献血推進協議会が占める割合は 200m 1 換算で 49.3%でした。

松戸市内における令和 4 年度の移動献血実績のうち、松戸市献血推進協議会所属団体でおよそ半分の血液を確保いただいているというデータとなります。

令和 4 年度松戸市移動献血実績につきましては以上でございます。

続きまして、昨年の松戸市献血推進協議会において質問がございました項目について情報共有をさせていただきます。昨年の松戸市献血推進協議会において、大きく 3 つのご質問がございました。①献血の実施会場について、②献血者がどこから来ているかについてのデータがあるかどうかについて、③市役所にて献血を実施する際の会場についてという質問でございます。

4 ページの表 7 をご覧ください。こちらが令和 4 年度に松戸市内において献血を実施した会場となります。本協議会の所属団体以外が実施した場所も記載してございます。昨年の協議会において献血会場の確保が難しいとのご意見がございましたので、今後の献血実施の際に参考になれば幸いです。

二つ目のご質問といたしまして、献血をされた方がどこから来ているかについてですが、本協議会所属団体全体としての収集データはございませんでした。安定的な献血者を確保していく為に必要なデータについては献血者のプライバシーや個人情報に配慮した上でアンケートの実施が必要であれば検討してまいりたいと考えております。

最後に、市役所での献血場所については市役所本館や議会棟あたりが良いのではないかとのご提案についてでございます。市役所におきましては 7 月、10 月、1 月、3 月に計 4 回の献血を実施しております。このうち、7 月と 10 月は本館正面玄関入り口、1 月と 3 月はこちらの中央保健福祉センターで実施をしております。献血をしていただく人数確保のため事務局と致しましても本館正面玄関での実施が望ましいと考えておりますが、1 月については年始すぐの実施であるため、来庁者が多く、例年駐車場が大変混雑し、献血車の場所の確保と献血後の休憩スペースの確保が難しいという現状がございます。また、献血移動車で献血を実施するため、寒さ対策が難しいこともあり、中央保健福祉センターでの実施とさせていただきます。また 3 月につきましても年度末にあたり、確定申告や引っ越し手続きをされる方が多く駐車場が大変混雑致しますので、中央保健福祉センターでの実施とさせていただきます。令和 4 年度の市役所での献血実績を見ますと市役所で実施した 7 月は 52 名、10 月は 54 名、中央保健福祉センターで実施した 1 月は 54 名、3 月は 38 名の方にご協力いただきました。3 月の献血実績は落ち込みましたが、1 月の実績は市役所本館正面玄関入り口と同等の人数を確保することができております。今後につきましては、中央保健福祉センターで実施の際には庁内協力の呼びかけを特に強化し、献血者への記念品を工夫する等の対応をすることで献血者数減少を防いでいきたいと考えております。

議案第 1 号につきましては、以上でございます。

(市場会長)

ありがとうございました。ご質問等につきましては、議案第 2 号まで報告した後に時間を設けますのでよろしくお願ひします。引き続きまして、議案第 2 号、令和 4 年度事業決算報告について事務局より説明をお願いします。

(事務局)

それでは、議案書の 5 ページをご覧ください。令和 4 年度事業決算についてご報告いたします。収入金額は前年度繰越金および活動費助成金、合わせて 106,227 円。

支出金額は昨年度の献血推進協議会におけるお茶代 3,096 円、粗品代(献血記念品代) 57,140 円、差引残高は 45,991 円となっております。

以上でございます。

(市場会長)

ありがとうございました。それでは、議案第 1 号令和 4 年度事業報告、議案第 2 号令和 4 年度事業決算報告の審議に入ります。質疑のある方は挙手をし、発言の前に、所属名・氏名をお願いします。ご質問、ご意見いかがでしょうか。

(市場会長)

では、私から質問させていただきます。以前にも同じようなことを聞いた覚えがありますが、献血の状況ですが、表 3 によると松戸市内の献血で 3385 単位、血液の利用状況が 122,862 単位であると。松戸市内で利用している 3%くらいしか供給できていないという状況なので、これは千葉県の中で融通をしているということなのでしょうか？

(千葉県赤十字血液センター)

血液センターの大橋でございます。今のご質問につきましてお答えをさせていただきます。医療機関からオーダーが入って血液を提供しているのですが、地域性を考えますと松戸市は東京にかなり近いので患者さんの出入りもかなり多いです。一方、献血者も流入、流出が多いエリアでございます。これは資料には載っていないのですが、私どもで独自に持っているデータとして千葉県内の献血者は 23 万 2260 名の中で松戸市に在住している献血者は 1 万 5239 人これが令和 4 年度の実績です。ですので、こちらで把握されている人数はそうですけれども、献血はショッピングセンターや献血ルームで願ひする場合には土曜日曜などの休日にご協力いただく方が多いですけれども、平日に関しましては、中心的な会場は職場です。そうしますと、松戸市民の方は東京に勤務されていて東京内で献血される方が大変多いエリアということですので、今回の資料の中ではこのような数字に見えますけれども、私どもとしましては実際どこにお住まいの方がどのくらい協力していただいているのかというデータも非常に重要だと認識しておりますので、昨年度の実績は今お示した通りです。千葉県の人口は約 627 万人くらいですけれども、そのうちの 6.57%の方は松戸市民の方が献血にご協力いただいたというデータでございます。また、千葉県内だけではなく、他県で献血にご協力いただいた方もい

らっしゃいます。患者さんに関しましては東京に入院される方もいれば、松戸市には受け入れ態勢がしっかりといただいている医療機関がございますので、患者さんを収容していただいている大変貴重な病院もございますので、やはりそこでの使用が多いということもございます。また、他県から来る患者さんもいらっしゃいますので、この辺は血液センターとして認識しておりますので、今数字で示されたよりはしっかりと確保いただいているという現状でございます。特に、自治体様、委員の皆様のご協力により献血啓発がしっかりとされていくことによって時間が作れた時に献血バスがあるな、献血ルームがあるなということでご協力いただいているという認識で捉えております。

(市場会長)

この数字を見ますとかなり厳しいなと思いましたが、それよりは松戸市民は貢献をしているということですね。ありがとうございます。よろしいでしょうか。では、以上で審議を終わります。次に承認に入ります。議案第 1 号、議案第 2 号を承認される方は拍手をお願いします。

—拍手—

(市場会長)

拍手多数により、承認されました。

続きまして、議案第 3 号、令和 5 年度事業計画（案）について、事務局より説明をお願いします。

(事務局)

それでは、議案書の 6 ページをご覧ください。令和 5 年度事業計画（案）についてご説明いたします。まず、松戸市全体の献血目標としましては、実施者数 5,237 人となりまして、献血量の 200m l 換算で 10,313 人となっております。この目標値は国から県に割り当てられた目標量に基づいて、令和 5 年度千葉県献血推進計画により定められているものとなっております。

次に目標業務といたしまして、1 広報誌及び松戸市公式 SNS 発信、2 ポスター掲示、3 チラシ配布、4 献血の啓発及び呼びかけを挙げさせていただきました。

1 広報誌及び松戸市公式 SNS 発信では、昨年同様広報まつど及び松戸市ホームページに献血に関するお知らせを掲載してまいります。また、新たな取り組みとして松戸献血ルームの PR 活動や献血ルームで行うキャンペーン情報についても若年層になじみのある公式ツイッター、フェイスブックを活用し、広報活動をしてまいります。

2 ポスター掲示では、「愛の血液助け合い運動」及び「千葉県献血強調月間」の際に従来の支所 7 か所での掲示から市内の公共施設 47 か所の掲示へとポスターの掲示箇所を拡大し、献血の啓発を図ります。議案書 7 ページの表 8 をご覧ください。こちらがポスターの掲示を行う市内の公共施設となります。

また、若年層に対しての献血の周知・啓発として、学校法人 日通学園 流通経済大学

新松戸キャンパス及び学校法人 東京聖徳学園 聖徳大学 聖徳大学短期大学部に伺い、献血日程をお知らせするポスターや献血啓発ポスターの掲示をお願いする予定です。

また、新たな取り組みとして、3.チラシ配布を目標に掲げさせていただきました。千葉県赤十字血液センター様と協力し市内の小学校 45 校、中学校 20 校へ父兄を対象とした献血推進啓発チラシ約 3 万 3 千枚を順次配布予定です。

また、市立松戸高校及び市内の県立高校 7 校に対し、学生向け献血推進啓発チラシも順次配布予定でございます。

4 献血の啓発及び呼びかけといたしましては、松戸市役所にて献血を実施する際にこれまでもポスター掲示、庁内デジタル掲示板での周知、庁内放送を行ってまいりましたが、これらの取り組みに加え、すべての課をまわって献血の呼びかけを行ってまいります。今年の 7 月 5 日に松戸市役所で行われた献血の際に各課に対し呼びかけを行ったところ、昨年同期比+23 名の計 75 名の方に献血をご協力いただくことができました。今後とも市職員に対し呼びかけを強化してまいりたいと考えております。

次に、議案書の 8 ページに令和 5 年度松戸市献血推進協議会所属の献血実施計画案をお示ししましたので、併せてご確認ください。事業計画案につきましては、以上でございます。

(市場会長)

ありがとうございました。ご質問等につきましては、議案第 4 号まで報告した後に時間を設けますのでよろしく申し上げます。それでは最後に議案第 4 号令和 5 年度予算(案)について、事務局より説明をお願いします。

(事務局)

議案書の 9 ページをご覧ください。令和 5 年度事業予算(案)についてご説明いたします。歳入につきましては、前期繰越金 45,991 円と日本赤十字社千葉県支部からの「活動費助成金」の 50,000 円になります。

歳出につきましては、献血推進事業費として、献血実施者への粗品関係費用で 70,000 円、その他に会議費、活動費、予備費といたしまして、歳入歳出ともに合計 95,991 円と見込んでおります。以上になります。

(市場会長)

それでは、議案第 3 号令和 5 年度事業計画(案)、議案第 4 号令和 5 年度事業予算(案)の審議に入ります。質疑のある方は挙手をし、発言の前に、所属名・氏名をお願いします。ご質問、ご意見いかがでしょうか。

(水野委員)

松戸東ライオンズクラブの水野です。6 ページにあるチラシ配布についてですが、どのような内容のチラシか見せていただきたいなと思います。以前、小学校 3 年生くらいの女の子がお母さんと来て献血したいということがございましたので、関心を持っている子もいるのだなと思いました。チラシがあれば見せていただけたらと思います。

(大野委員)

松戸赤十字奉仕団の大野です。チラシに関してよろしいでしょうか？先月 7 月 26 日に千葉県大会に参加した時なのですが、こちらは松戸の六実の学生が書いた絵でございます。こちらにもう一枚ございます。ショッピング袋にこのようにプリントしてありましたので、いただいてきましたけれどもこういった絵が松戸から二人、全国の中から二人選ばれているのですね。ですので、松戸の学生は絵が上手いのかも知れません。こういった絵をチラシに使っても良いのではないのでしょうか？一つの案でございます。

(市場会長)

どのようなチラシを配布する等案はありますか？

(事務局)

現状、チラシはまだできていないのが正直なところでございます。今年度から初めて行う取り組みでしたので、まずチラシを配布する為に市内の各小中学校の方に許可取りを行っております。また、県の方にも同様に県内の高校にこのようなチラシを配布してよろしいかというところを確認させていただいた後に、チラシの案を作ろうということを検討していた段階でございましたので、現状においてはまだチラシは完成していないという状況でございます。次年度の献血推進協議会の際には今年度配布させていただくチラシを皆様にお示しできればと思っておりますので、よろしくお願い致します。

(市場会長)

若い方への啓発の話題は今日度々出ておりますので、よろしくお願い致します。その他にございますでしょうか。

(古閑委員)

今、ポスターのお話でしたが、こちらは健康福祉センターの方でポスター募集をさせていただいております。提出していただいて、健康保健センターの入口に掲示しております。

(大野委員)

素晴らしいですね。

(市場会長)

その他よろしいですか。どうぞ。

(岩橋委員)

松戸中央ライオンズクラブの岩橋でございます。今年度の目標につきまして 200ml 換算で 1 万 313 人ということですが、議案第 1 号の令和 4 年度の実績報告を見ますとコロナの影響が確かにあったのかなと思いますが、献血車の稼働台数が減少している

と。それに伴って実施会場数も減少している。これを見ますとやはり献血車両が稼働している台数、それから実施会場数に応じて実施者数がこれに連動しているように思うのですが、そう考えますと 200ml 換算でこれだけの目標数を確保しようとするので献血車両も倍、あるいは 3 倍稼働が必要なのではないかということにもなってくるのかなと思います。また、実施会場数も 2 倍、3 倍と増やすとようやく目標を達成できるようになるのかなという風にデータを見る限りはこのように思います。その時に例えば献血車両の確保が可能なのかまた、実施会場を増やせば増やすほど人数も増えると考えて良いのかその辺をどのように見込んでいるのかお考えを聞かせていただければと思います。

(千葉県赤十字血液センター)

血液センターの大橋でございます。今のご質問に関してですが、献血バス自体は千葉県内に 10 台ございます。常時稼働しているのは通常 6 台から 7 台でございます。これは、職員の人数にもよるのですが、現状の献血バスの稼働台数を維持するのが現実的に限界かなというところがございます。今、ご指摘の通りここ数年にかけてバス 1 台についての稼働効率をしっかりと確保していこうということで稼働効率の良い献血会場を積極的にお願いしております、1 台あたりの献血者数は昨年度 46.5 人でした。これまでは 40 人いくかないかという本当に厳しい状況でございましたが、限られたスタッフの中で効率を高めていくということでございます。松戸市には献血ルームがございますが、千葉県内に 4 か所ございますので、ここの充実を図って提供いただく方を一人でも多くし、献血バス・献血ルーム 1 日あたりの稼働効率を高めたうえで確保に努めております。私どもは限られた施設をフル活用しておりますので、自治体の皆様のご協力、委員の皆様の献血啓発をしっかりと取り組んでいただいておりますので、ここで何とか必要な血液が確保できているという状況でございます。献血バスの稼働台数はすぐ増やせるかというとなかなか難しいので 1 台あたりの会場でしっかりと確保していただくことに力点を置いて取り組んでいるというところがございます。

(市場会長)

ありがとうございます。その他にいかがでしょうか。どうぞ。

(花輪委員)

花輪でございます。稼働効率ということでしたけれども、8 ページの令和 5 年度献血実施計画の中の松戸市立総合医療センターでの献血ですけれども、実施場所を巡り歩いているのですけれども、センターに行ってもバスが見えないですね。なぜかそこそとやっていますね。ドクターやナース等の医療従事者が昨年は 45 人くらい献血に参加していただいています本当にありがたい。SDGs の 6 番でトイレに関する目標がありますが、松戸市内でオストメイト対応の最高のトイレはアトレとセンターとあともう一つ市民センターと 3 か所くらいしかないですね。オストメイトの方は大変なのです。余計なことを申し上げましたけれども、資料の 9 番と 18 番で参加されるのはドクターとナースだけなのではないでしょうか。あれはもったいないですね。稼働効率を高めるのであれば献血をやっていますという旗を出すとか、医療センターに来られる一般の方に分かるようにした

方が増えると思います。

あともう一つ、15 番のマブチクラブさんですが、最高の対応をしてくださっていますけれども実施日が未定ですのでこれは早く決めていただいた方が良くと思います。松飛台工業会の方で検討されているとは思いますが、はっきりさせた方がいいと思います。余計なことを申しました。

(武藤委員)

松飛台工業会の武藤です。先ほど会長とお話を致しましたが、現在別の場所を選定しています。現状、マブチモーターさんの許可が出ない状況です。同じ会場で手配していたのですがコロナが流行してから一切使用できなくなりました。明日、会議がございしますので、そこでも議題に上がると思います。近々なんらかのリアクションがあると思います。

(市場会長)

わかりました。引き続きご協力よろしくお願い致します。あとは総合医療センターでの実施についてはこそそやっているというお話がありましたが、何かご事情があれば説明をお願いしますか。

(千葉県赤十字血液センター)

私どもとしては、医療センターの医療従事者の方を中心にお願いをしておりますので、会社に伺って献血をお願いするイメージを持っていただいて結構です。来所されるの方が圧倒的に多いのですが、やはり通院、受診に来られる方が多いのと、入院されている方のお見舞いなどでお越しになる方が多いです。病院内で献血ポスターの掲示をお願いしておりますが、そういった場所ですので大きな声を出してお願いするのはいかなものかなというのがあります。しかしながら、先ほどお話致しましたけれども、医療機関さんの方で需要がなければ血液は必要ないのかなと思いますのでそういった中で生命を維持する最後の砦として輸血というのがあると思います。医療従事者の皆様はかなり積極的に取り組んでいただいておりますので、定期的にお邪魔させていただきましてご協力をいただいております。あとは、現場の最前線で働かれています看護師さんなどにご参加いただく割合が高いのですが、やはり激務ということと血液の濃度が少し足りないということもあり、受け付けさせていただいてもご参加いただけないという現状もあります。とは言えやはりそういった気持ちを全面的に出して、ご協力いただいておりますので、是非とも一般の方も参加していただきやすいように担当の者としっかり確認しながら進めて参りたいと思います。よろしくお願い致します。

(花輪委員)

ありがとうございます。もう一つ余計なことをお聞きしますが、市内の大学は4つあるんですね。羽生結弦選手のポスターなんかは奪い合いで盗まれるくらいでした。今は乃木坂 46 でしたかね、ポスターの人気があるのですが、はたちの献血で松戸市内には4つの大学があるのですからここで連絡会を作った方がいいのではないのでしょうか？以上

でございます。

(市場会長)

ありがとうございます。流通経済大学と聖徳大学では献血をやっているということですね。

(事務局)

ポスターの掲示についてはお願いをしているところであります。現状ですと流通経済大学と聖徳大学でお願いをしています。今後、日本大学歯学部さんと千葉大学園芸学部さんでもお願いをさせていただく予定ではございますが、確実にお願いできる場所として流通経済大学と聖徳大学をあげさせていただいたところでございます。

大学間の連絡会というのはどうでしょうか。そういうお話があったということで千葉県赤十字血液センター様とも協議させていただければと思います。

(花輪委員)

新松戸にある流通経済大学この学生も取り入れていかれたらよろしいのではないのでしょうか。

(千葉県赤十字血液センター)

補足よろしいでしょうか。血液センター大橋でございます。今出た大学の中で流通経済大学さんと聖徳大学さんこちらは年 2 回ずつ献血を行っております。2 つの大学につきましては、献血ルームに来てくださいというポスターを掲示させていただいて推進活動をしっかり行っております。学生の構成人員によっても異なりまして、先ほど効率化というお話をさせていただきましたが、10 人 20 人ですと効率化が図れないものですからその辺も考えて、ご理解のある大学に関しては積極的に特に若年層の献血者を一人でも増やしたいというところですので、積極的に取り組むように行っておりますので、そこは粛々と進めて参りたいと思います。

(市場会長)

はい、では大体よろしいでしょうか。どうぞ。

(水野委員)

すみません、お時間いただきまして。SNS を活用するということで目標にありましたけれども、実は私どものクラブの運営施設の松戸のキャラクターである松戸さんが献血ルームでの献血の手順等を動画にしまして You Tube でアップしております。献血ルームさんにご協力いただいて作成したものです。もしよろしければ SNS で活用して利用拡大していただけたらありがたいなと思いますので、そのご案内だけさせていただきます。

(市場会長)

ありがとうございます。それはそちらの団体のホームページにあるのでしょうか。

(水野委員)

松戸さんで You Tube で検索していただくとチャンネルが見つかると思いますので、リンクを貼っていただければと思います。

(大野委員)

予約などできるのですよね。若い方は予約をされて参加されますから、きっと人気があると思います。

(水野委員)

予約の仕方とか献血の手順をご確認いただけます。

(事務局)

事務局側でも You Tube 動画を確認させていただいて、もしよろしければ市のホームページなどに掲載できればと思います。詳細につきましてはまた相談させていただければと思いますので、よろしくお願い致します。

(市場会長)

ありがとうございます。では以上で審議を終わります。次に承認に入ります。議案第 3 号、議案第 4 号を承認される方は拍手をお願いします。

—拍手—

(市場会長)

拍手多数により、承認されました。本日の議事内容はすべて終了いたしました。皆様のご協力により、無事大任を果たすことができました。大変ありがとうございました。これを持ちまして、議長の任を解かせていただきます。ありがとうございます。

(司会)

市場会長ありがとうございました。それでは、次第 8「講話」に移らせていただきます。事業推進一副部長 兼 献血推進課長 兼 千葉出張所長の大橋 恵次様よりお願いいたします。

—講話—

(司会)

以上を持ちまして本日の予定は全て終了となります。不慣れな進行にもかかわらず皆様のご協力により滞りなく会を無事終了できました。改めて感謝申し上げます。皆様、ありがとうございました。お帰りの際は、お手回り品を確認していただきまして、お忘

れ物の無いようお願いをいたします。市役所駐車場をご利用の方で、まだスタンプを
押していない場合、受付にお声をかけてください。また、本会議開催前にご依頼してい
ます書類の提出がまだの方は、お早めに提出をお願いいたします。以上となります、本
日はありがとうございました。